



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 明星電気株式会社
コード番号 6709 URL <http://www.meisei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上澤 信彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 小谷 雅博

TEL 03-3814-5115

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|-------|------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第3四半期 | 4,574 | 5.4 | 248 | 393.4 | 228 | 855.7 | 199 | — |
| 22年3月期第3四半期 | 4,338 | 2.1 | 50 | — | 23 | — | 13 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 1.57 | — |
| 22年3月期第3四半期 | △0.03 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 8,193 | 3,654 | 44.6 | 29.80 |
| 22年3月期 | 8,924 | 3,457 | 38.7 | 28.24 |

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 3,654百万円 22年3月期 3,457百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | — | — | 0.00 | 0.00 |
| 23年3月期 | — | — | — | — | — |
| 23年3月期 (予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 8,800 | △3.6 | 750 | △31.2 | 700 | △33.1 | 680 | △34.2 | 5.67 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 116,269,350株 22年3月期 116,269,350株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 228,986株 22年3月期 226,588株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 116,042,296株 22年3月期3Q 116,045,885株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|-------|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | P. 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | P. 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | P. 3 |
| 2. その他の情報 | P. 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | P. 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | P. 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | P. 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | P. 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | P. 6 |
| 【第3四半期連結累計期間】 | P. 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | P. 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | P. 8 |
| (5) セグメント情報 | P. 8 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | P. 9 |
| 4. 補足情報 | P. 9 |
| (1) 経営管理上重要な指標の推移 | P. 9 |
| (2) 生産、受注及び販売の状況 | P. 10 |
| (3) 主要な連結子会社の業績の概況 | P. 10 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年12月31日）におけるわが国経済は、米国経済が穏やかながらも回復基調になったことや、政府の景気刺激策により企業収益に改善の傾向がみられますが、一方で雇用環境の悪化、株価の低迷、円高などにより景気は足踏み状態が続いております。

このような経済情勢において、当社グループは、地震・津波・火山観測などの気象防災事業、地上気象観測や航空気象観測などの環境計測事業、私達に宇宙への夢と大きな感動を与えてくれた小惑星探査機「はやぶさ」に搭載され活躍した「蛍光エックス線分光装置（XRS）」などの宇宙関連事業を柱とし、特色ある専門メーカーとして確かな技術のもと、これらの事業分野におけるトップブランドを目指しております。又、コストや品質に関しましては、「ハーフコスト活動」による徹底したコスト削減、生産の平準化や効率化、そして源流段階における徹底した品質確保などの活動を全社一丸で推進しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前第3四半期連結累計期間と比べ235百万円増加（5.4%増加）し、4,574百万円となりました。損益につきましては、営業利益248百万円（前第3四半期連結累計期間は営業利益50百万円）、経常利益228百万円（前第3四半期連結累計期間は経常利益23百万円）、四半期純利益199百万円（前第3四半期連結累計期間は四半期純利益13百万円）の計上となり、前年同四半期と比較して増収・増益を達成することができました。

尚、当社グループの売上高および利益の計上には特有の季節的変動があり、特に会計年度末に納期を迎える受注物件の割合が大きい傾向にあります。これを踏まえた詳しい通期の業績見通しにつきましては、(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、8,193百万円となり、前連結会計年度末に比べ730百万円減少（8.2%減少）しました。流動資産における主な増減は、仕掛品の増加592百万円、現金及び預金の減少176百万円、受取手形及び売掛金の減少1,183百万円等です。固定資産の減少22百万円は、主に有形固定資産の減少19百万円によります。

負債の部は前連結会計年度末に比べ927百万円減少（17.0%減少）し4,539百万円となりました。流動負債の減少は、主に支払手形及び買掛金の減少125百万円、短期借入金の減少470百万円、未払消費税等の減少107百万円、賞与引当金の減少140百万円等によります。また、固定負債は、環境対策引当金の増加16百万円、リース債務の減少11百万円、退職給付引当金の減少22百万円等により17百万円減少しております。

純資産は、主として四半期純利益199百万円の計上による株主資本合計の増加200百万円により、前連結会計年度末に比べ196百万円増加（5.7%増加）し3,654百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（資金）は、期首残高に比べ176百万円減少し387百万円となりました。（対前年同四半期比では、367百万円の減少）

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は384百万円の増加（対前年同四半期比476百万円の収入の増加）となりました。資金の増加の主な内訳は税金等調整前四半期純利益209百万円、減価償却費141百万円、売上債権の減少額1,183百万円等であり、資金の減少の主な内訳は、賞与引当金の減少140百万円、たな卸資産の増加額625百万円、仕入債務の減少額153百万円及びその他の負債の減少額174百万円等です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は68百万円減少（対前年同四半期比7百万円の支出の増加）となりました。資金の減少は、主に有形固定資産の取得による支出68百万円によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金は493百万円の減少（対前年同四半期比523百万円の支出の増加）となりました。資金の減少は、短期借入金の純減少額470百万円、リース債務の返済による支出22百万円等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年12月31日）の業績は、前述しましたように、前第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年12月31日）の業績を上回り増収・増益を達成することができました。

一方、当社グループの連結の通期業績予想につきましては、例年売上高が第4四半期、特に年度末に集中する傾向があり、その中には現時点では不確定な要素も含まれていることから、これらの状況を総合的に勘案し、平成22年5月13日に公表いたしました予想値を据え置くこととします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理の適用

- ①当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。
- ②当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっています。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却額を見積り、簿価切下げを行う方法によっています。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算において、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しています。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 387,857 | 564,833 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,727,427 | 3,911,024 |
| 製品 | 92,330 | 94,813 |
| 仕掛品 | 1,170,478 | 577,948 |
| 原材料及び貯蔵品 | 495,264 | 459,826 |
| その他 | 47,854 | 21,708 |
| 貸倒引当金 | △4,451 | △5,168 |
| 流動資産合計 | 4,916,761 | 5,624,987 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 246,156 | 253,745 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 193,053 | 141,187 |
| 土地 | 2,553,168 | 2,555,836 |
| リース資産(純額) | 85,422 | 96,738 |
| 建設仮勘定 | 1,009 | 10,958 |
| その他(純額) | 150,118 | 189,637 |
| 有形固定資産合計 | 3,228,928 | 3,248,104 |
| 無形固定資産 | | |
| リース資産 | 2,508 | 3,033 |
| その他 | 3,926 | 5,200 |
| 無形固定資産合計 | 6,434 | 8,233 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 700 | 700 |
| 長期貸付金 | 3,410 | 4,241 |
| その他 | 61,849 | 62,613 |
| 貸倒引当金 | △24,270 | △24,270 |
| 投資その他の資産合計 | 41,690 | 43,284 |
| 固定資産合計 | 3,277,053 | 3,299,622 |
| 資産合計 | 8,193,814 | 8,924,609 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,417,224 | 1,542,338 |
| 短期借入金 | 30,000 | 500,000 |
| 未払金 | 136,806 | 115,284 |
| リース債務 | 29,856 | 30,577 |
| 未払法人税等 | 17,689 | 23,113 |
| 未払消費税等 | 24,971 | 132,151 |
| 受注損失引当金 | 2,217 | 1,449 |
| 製品保証引当金 | 152,046 | 164,908 |
| 賞与引当金 | 133,805 | 274,513 |
| その他 | 290,340 | 360,768 |
| 流動負債合計 | 2,234,957 | 3,145,105 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 58,074 | 69,193 |
| 退職給付引当金 | 1,249,079 | 1,271,184 |
| 環境対策引当金 | 16,870 | — |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 980,460 | 981,545 |
| 固定負債合計 | 2,304,484 | 2,321,923 |
| 負債合計 | 4,539,441 | 5,467,029 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,411,898 | 5,411,898 |
| 利益剰余金 | △3,155,867 | △3,357,002 |
| 自己株式 | △28,722 | △28,564 |
| 株主資本合計 | 2,227,308 | 2,026,331 |
| 評価・換算差額等 | | |
| 繰延ヘッジ損益 | △2,061 | 541 |
| 土地再評価差額金 | 1,429,124 | 1,430,706 |
| 評価・換算差額等合計 | 1,427,063 | 1,431,248 |
| 純資産合計 | 3,654,372 | 3,457,579 |
| 負債純資産合計 | 8,193,814 | 8,924,609 |

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 4,338,205 | 4,574,063 |
| 売上原価 | 3,397,194 | 3,441,013 |
| 売上総利益 | 941,010 | 1,133,049 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 役員報酬 | 67,960 | 78,516 |
| 従業員給料及び手当 | 373,868 | 371,100 |
| 賞与引当金繰入額 | 92,613 | 87,990 |
| 退職給付費用 | 53,022 | 56,755 |
| 賃借料 | 66,260 | 62,409 |
| 製品保証引当金繰入額 | 39,189 | 43,701 |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 494 |
| その他 | 197,676 | 183,302 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 890,590 | 884,271 |
| 営業利益 | 50,419 | 248,777 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 198 | 262 |
| 受取賃貸料 | 22,126 | 19,861 |
| その他 | 5,886 | 4,303 |
| 営業外収益合計 | 28,211 | 24,428 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,619 | 7,248 |
| 売上債権売却損 | 3,376 | 5,521 |
| 為替差損 | 188 | 73 |
| シンジケートローン手数料 | 20,900 | 14,400 |
| その他 | 20,662 | 17,707 |
| 営業外費用合計 | 54,746 | 44,950 |
| 経常利益 | 23,884 | 228,255 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 1,017 | 1,215 |
| 特別利益合計 | 1,017 | 1,215 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 2,667 |
| 環境対策引当金繰入額 | — | 16,870 |
| 特別損失合計 | — | 19,537 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 24,902 | 209,933 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 11,436 | 10,380 |
| 法人税等合計 | 11,436 | 10,380 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 199,552 |
| 四半期純利益 | 13,466 | 199,552 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|----------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 24,902 | 209,933 |
| 減価償却費 | 144,504 | 141,344 |
| 減損損失 | — | 2,667 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △69,448 | △716 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △136,494 | △140,707 |
| 製品保証引当金の増減額 (△は減少) | △14,013 | △12,862 |
| 受注損失引当金の増減額 (△は減少) | △57,203 | 767 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 30,032 | △22,105 |
| 環境対策引当金の増減額 (△は減少) | — | 16,870 |
| 受取利息及び受取配当金 | △198 | △262 |
| 支払利息 | 9,619 | 7,248 |
| 有形固定資産除売却損益 (△は益) | 2,424 | 1,043 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 931,595 | 1,183,597 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △1,166,299 | △625,484 |
| その他の資産の増減額 (△は増加) | 2,496 | △25,658 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 246,547 | △153,848 |
| その他の負債の増減額 (△は減少) | △13,194 | △174,987 |
| 小計 | △64,727 | 406,839 |
| 利息及び配当金の受取額 | 198 | 262 |
| 利息の支払額 | △12,417 | △7,424 |
| 法人税等の支払額 | △15,248 | △15,288 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △92,194 | 384,389 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △61,747 | △68,430 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 965 | 830 |
| その他の支出 | △2,204 | △991 |
| その他の収入 | 1,843 | 355 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △61,143 | △68,236 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 50,000 | △470,000 |
| リース債務の返済による支出 | △18,602 | △22,971 |
| 自己株式の取得による支出 | △568 | △157 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 30,828 | △493,129 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △122,509 | △176,976 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 877,604 | 564,833 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 755,094 | 387,857 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）
当社グループは単一の事業分野で営業活動を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）
全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）
海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

当社グループは、通信、電子、電気計測、情報処理等の機器・装置を製造販売する環境計測システムメーカーとして単一の事業を営んでおり、社内におけるマネジメントにおいても全体を一つの事業としております。従いまして、報告セグメントは単一でありますので以下に関連情報につき記載いたします。

①製品及びサービスに関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）
（製品機種区分別の売上高）

| 製品機種区分 | 売上高（千円） | 構成比（%） |
|----------|-----------|--------|
| 気象防災分野 | 1,502,312 | 32.8 |
| 環境計測分野 | 739,194 | 16.2 |
| 特機分野 | 604,206 | 13.2 |
| 宇宙機器分野 | 689,700 | 15.1 |
| 制御システム分野 | 265,800 | 5.8 |
| 情報通信分野 | 772,849 | 16.9 |
| 合計 | 4,574,063 | 100.0 |

②地域に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

| | 売上高（千円） | 構成比（%） |
|--------------|-----------|--------|
| 国内の外部顧客への売上高 | 4,348,548 | 95.1 |
| 海外の外部顧客への売上高 | 225,515 | 4.9 |
| 合計 | 4,574,063 | 100.0 |

（注）有形固定資産はすべて国内に所在しており、海外に所在するものではありません。

③主要な顧客に関する情報

当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

| 主要な顧客の名称 | 売上高 (千円) | 主要な製品機種区分 |
|-------------------|----------|-----------|
| 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 | 495,325 | 宇宙機器分野 |
| 日本電気株式会社 | 470,259 | 防災機器分野 |

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 経営管理上重要な指標の推移

①前連結会計年度における各四半期連結会計期間に係る売上高等の推移

| | 第1四半期 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日) | 第2四半期 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日) | 第3四半期 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日) | 第4四半期 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日) |
|--|--|--|--|--|
| 売上高 (千円) | 959,803 | 1,540,831 | 1,837,569 | 4,789,294 |
| 税金等調整前四半期純利益金額 又は税金等調整前四半期純損失金額 (△) | △121,735 | △2,680 | 149,318 | 1,023,228 |
| 四半期純利益金額 又は四半期純損失金額 (△) | △125,547 | △6,492 | 145,506 | 1,019,376 |
| 1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額 (△) | △1.13 | △0.10 | 1.21 | 8.74 |

②当連結会計年度における各四半期連結会計期間に係る売上高等の推移

| | 第1四半期 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日) | 第2四半期 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日) | 第3四半期 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日) |
|--|--|--|--|
| 売上高 (千円) | 907,815 | 1,784,192 | 1,882,055 |
| 税金等調整前四半期純利益金額 又は税金等調整前四半期純損失金額 (△) | △114,803 | 184,964 | 139,772 |
| 四半期純利益金額 又は四半期純損失金額 (△) | △118,625 | 182,227 | 135,950 |
| 1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額 (△) | △1.07 | 1.52 | 1.12 |

(2) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績は、次のとおりです。

| 期 間 | 当第3四半期連結累計期間 (平成22年4月1日～平成22年12月31日) | 前年同四半期比 |
|-----|---|---------|
| | 金 額 (千円) | 割合 (%) |
| 計 | 5,164,109 | △7.8 |

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績は、次のとおりです。

| 期 間 | 当第3四半期連結累計期間 (平成22年4月1日～平成22年12月31日) | | | |
|-----|---|----------------|--------------|----------------|
| | 受注高 (千円) | 前年同四半期比 (%) | 受注残高 (千円) | 前年同四半期比 (%) |
| 計 | 5,332,698 | △16.1 | 2,881,857 | △35.7 |

- (注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりです。

| 期 間 | 当第3四半期連結累計期間 (平成22年4月1日～平成22年12月31日) | 前年同四半期比 |
|-----|---|---------|
| | 金 額 (千円) | 割合 (%) |
| 計 | 4,574,063 | +5.4 |

- (注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

なお、当社グループの事業は単一事業であるため、生産実績、受注実績、販売実績とも事業の種類別はありません。

(3) 主要な連結子会社の業績の概況

当社の連結子会社は、当社が100%出資する明星マネジメントサービス株式会社のみです。当第3四半期連結累計期間での当該子会社の売上高は全額が当社の仕入高となっており、また企業グループにおける連結決算において当該子会社の重要性は、金額的にも質的にも僅少であります。

当該子会社の当第3四半期累計期間における売上高は162,753千円、経常利益2,466千円、税引前四半期純利益2,466千円、四半期純利益2,312千円であります。